

「カエル」

先日、開かれた学校づくり協議会で、千住桜木公園の花壇の整備を行った。夏の花が終わり、春に向けて球根を植える準備だ。この日は、キバナコスモスやヒマワリなどの種を取り、すべての植物を抜いて、整地した。ボランティアとして本校の中学生も11名が参加した。そんな草取りをしている最中、女子の「キャー」という悲鳴。何かと思ったら、土の中から大きなカエルが出てきたのだ。この花壇を住処にしているヒキガエルのような。その姿に、かわいいと思う人もいれば、その場から距離をおきたいと思う人もいる。

カエルと言えば、今、話題となっているのが東京オリンピックのボクシング女子フェザー級で金メダルに輝いた入江聖奈さん。彼女はカエルが大好きで、カエルグッズをたくさん持っている。さらに、ペットとしてツノガエルを飼っており、カエルに関わる仕事に就きたいとも話していた。カエルの魅力はそのビジュアルにあるそうで、高校時代に下校途中で目にとまったカエルが「運命の出会い」だったとか。

日本体育大学4年生である彼女は、卒業を機に現役を引退し、東京農工大学大学院をめざした。大好きなカエルの研究をするためだ。最後の試合に向けボクシングの練習量を減らすことなく、1日4時間は机に向かった。試験直前の2週間は約6時間の猛勉強。そして、2倍近い狭き門を突破し、みごと合格した。農学府自然環境保全学プログラムを専攻し、来春から大好きなカエルの生態や環境保全について学ぶそう。ネットには彼女の言葉として「やっとスタートラインに立てた。他の学生と比べて知識に差があり、ここからがより険しい道になる。コツコツ努力できる学生でありたい」と書かれている。そして記事には、金メダリストが「第2の人生」へ、力強い一步を踏み出した、とも記している。

小学校3年生から始めたボクシングは、父の教えもあって、勝っても謙虚で驕らず。低姿勢で高みを目指し、大学3年生の夏に頂点を極めた。周りに流されず、自分を貫き、人生を歩く。自分のやりたいことにまっすぐに向き合う姿は素晴らしい。

11月16日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 ある学校の生徒200人について、兄がいるか、姉がいるかを調べました。両方ともいない人は123人いました。兄のいる人の $\frac{2}{7}$ 、姉のいる人の $\frac{1}{3}$ が、兄と姉の両方ともいる人の人数でした。兄のいる人の人数を求めなさい。